



SUBARU ビジネスアップデート

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 大崎 篤

2024年11月1日

“柔軟性”と“拡張性”

の考えをもとに各種取り組みを推進



開発

- ・モノづくり革新
- ・価値づくり



商品



生産

BEV Battery Electric Vehicle

2026年末までに
SUV4車種(アライアンス)投入。



HEV Hybrid Electric Vehicle

次世代e-BOXERを展開。
ストロングハイブリッドへ。



モノづくり革新

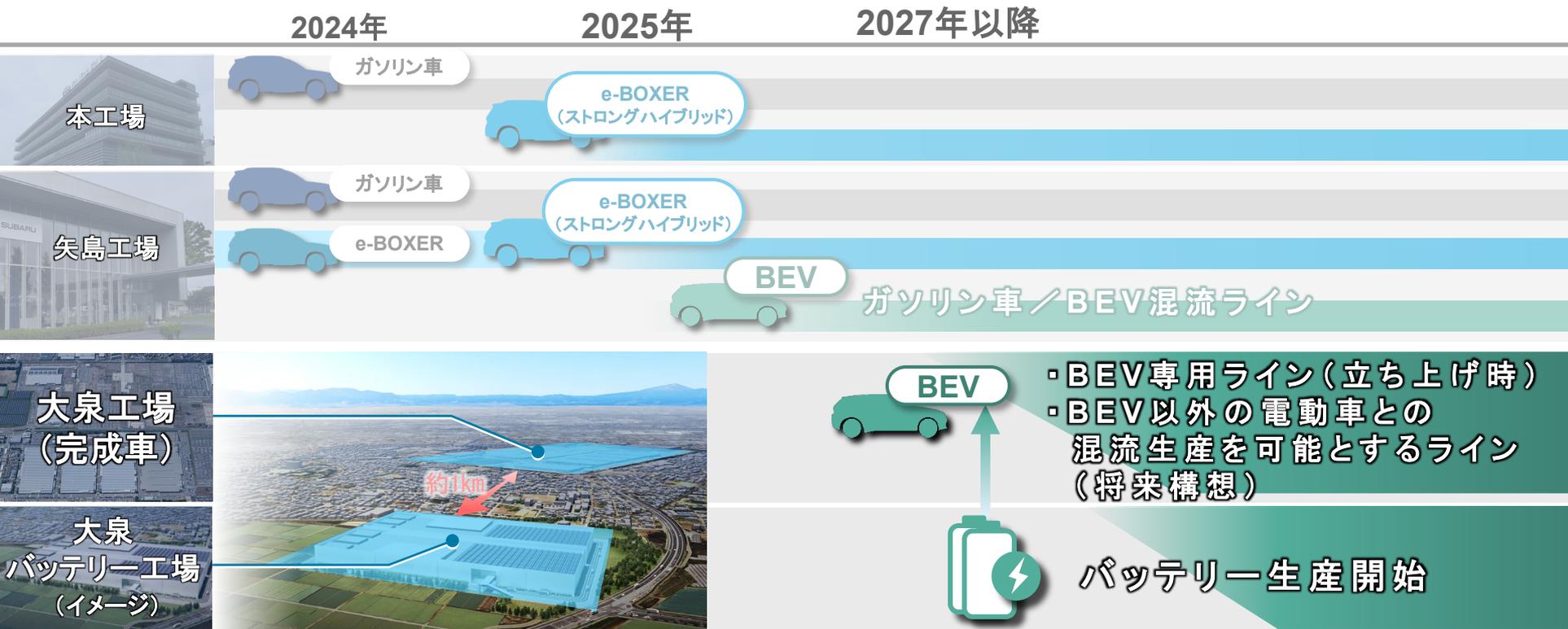
価値づくり

「モノづくり」「価値づくり」で世界最先端を狙う

BEV開発とその知見を活かしたさらなる
ICE系商品強化

※画像はイメージ

ビジネスアップデート : ご説明のポイント



大泉新工場の段階的立ち上げによる合理的な生産・投資

ビジネスアップデート :モノづくり革新

エンジニアリングチェーン

開発

企画

設計
開発

サプライチェーン

製造

お取引先様

材料

部品

製造
工場
/工程

SUBARU

ライン
保守

出荷

販売

販売

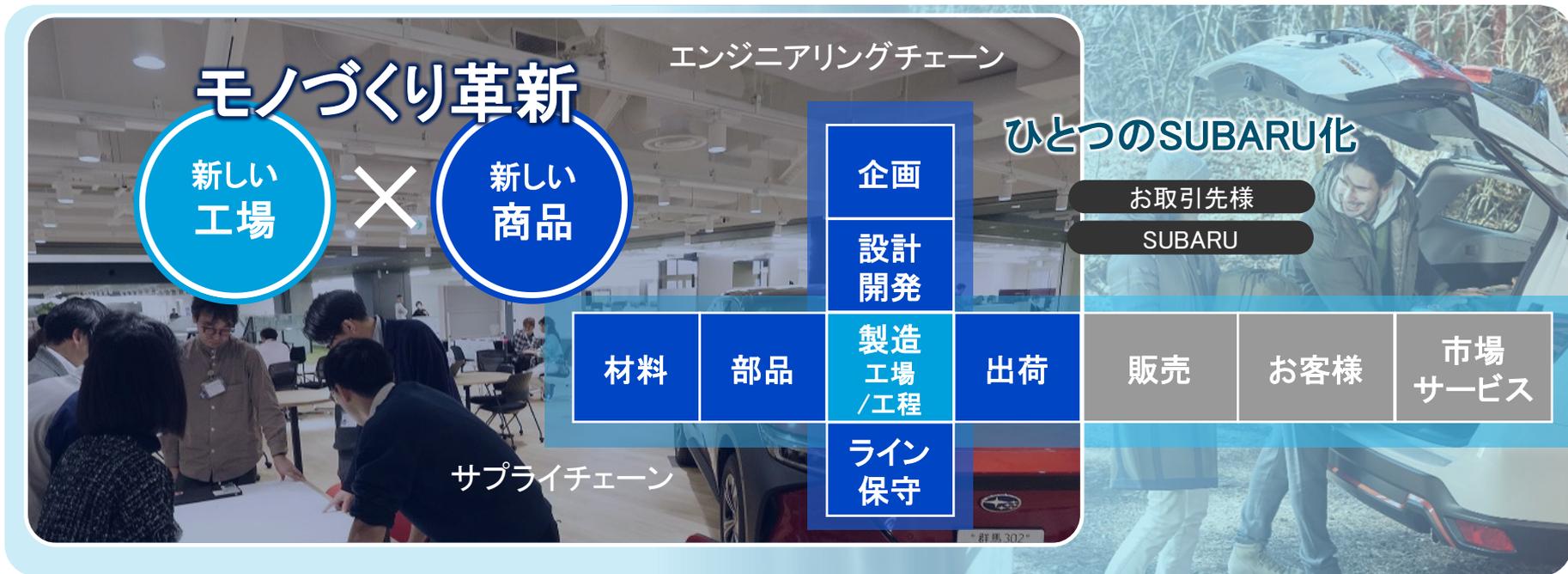
お客様

市場
サービス

分業化した組織 による “リレー式” のモノづくり

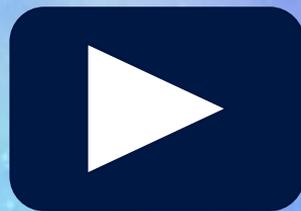


「新しい工場」での「新しいクルマ」づくりを起点とした
“アジャイル”なモノづくり



「新しい工場」での「新しいクルマ」づくりを起点とした
“アジャイル”なモノづくり

大泉新工場



～これからのモノづくり～

群馬県

本工場

矢島工場

埼玉県

北本工場

大泉工場

大泉
バッテリー工場
(イメージ)

新工場建設の自由度を活用した 生産・開発面のリードタイム短縮

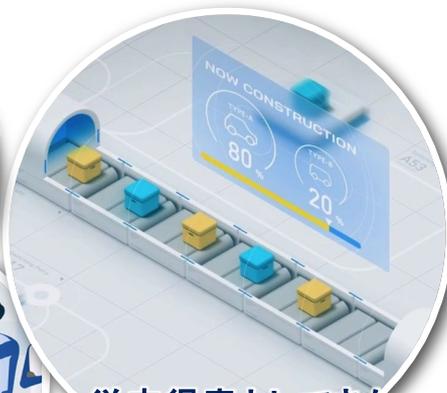
生産ラインの
モジュール化や
柔軟なサブライン構築



車両構造・仕様の
シンプル化



従来得意としてきた
柔軟な混流生産の進化



ロケーションメリットの最大活用や
開発・生産・物流の高効率化によるリードタイムの大幅な短縮

テクノロジーで実現する価値

安心と愉しさ

EV化による強みの強化

シームレス&ストレスフリー

待たせない
乗っていても／乗っていなくても

減価ゼロ

SUBARUならではのOTA
販売店と一体となった価値提案

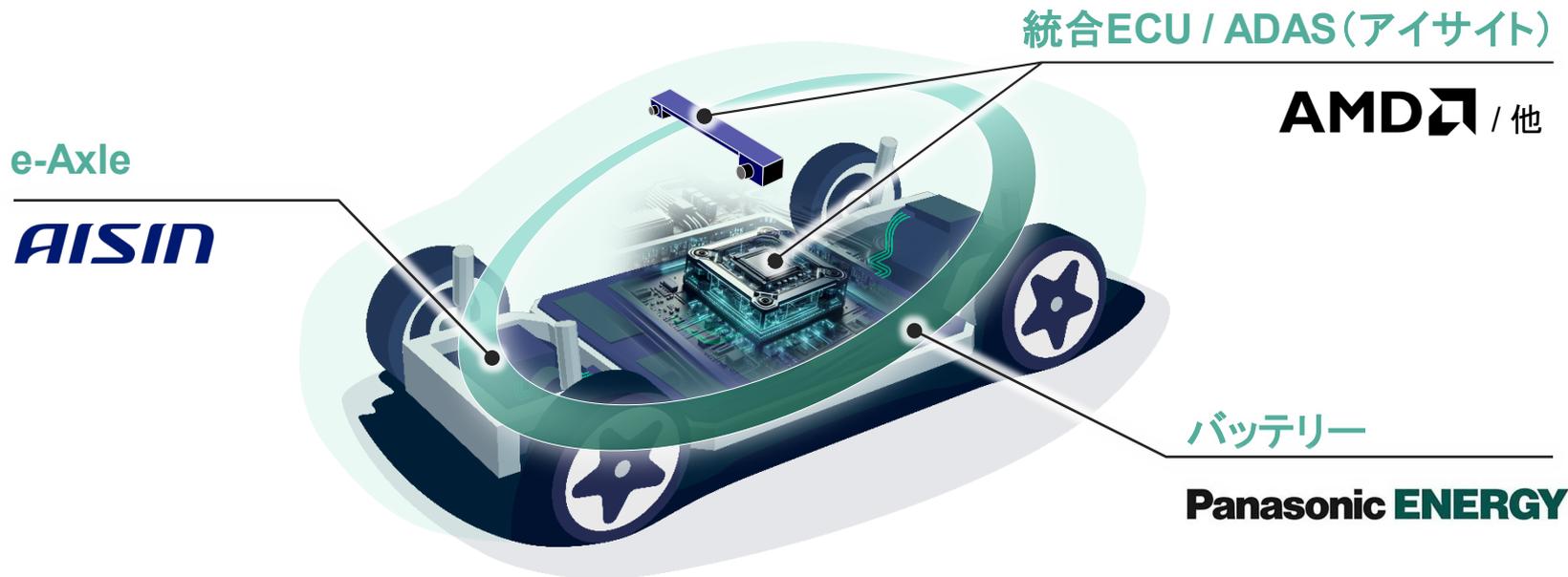
「協業の深化」



「知能化」

「協業の深化」と「知能化」を進め、
“安心と愉しさ”を更なる高みへ引き上げていく

各種協業を深化させ、「SUBARUらしいBEV」を実現



世界最先端の「安心と楽しさ」を実現

ICE系商品



開発知見
統合制御ノウハウ

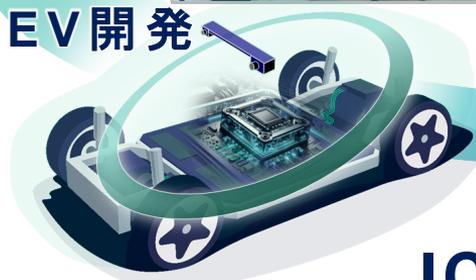


蓄積・内製化



応用・実装へ

BEV開発



ICE系商品への実装を踏まえた
BEV開発知見や統合制御ノウハウの”蓄積”と”内製化”

「財務健全性と安定性の実現」「成長投資」「株主還元」を三位一体で実行



成長投資

- 電動化関連投資額: 約1.5兆円 (現時点では不変)
- 合理的な生産・投資を進めていく上で、投資の規模とタイミングは 従来計画に対し分散化
- 米国BEV生産については引き続き検討中

株主還元方針

- 業績・投資計画、経営環境を総合的に勘案
- 継続的且つ安定的な配当と機動的な自己株式の取得
- 総還元性向30%~50%を目安

電動化関連投資額: 約1.5兆円 内訳



モノづくり革新

価値づくり

「モノづくり」「価値づくり」で世界最先端を狙う

「お客様価値の最大化」
「業界高位の収益力」

※画像はイメージ

Thank you



SUBARU